

Ⅱ 調査結果の概要

1 身長・体重・座高の県平均値

(前年度比較、全国比較、男女比較)

平成19年度の小学校、中学校、高等学校及び幼稚園における児童、生徒及び幼児の身長・体重・座高については次のとおりである。

(1) 身長

(図1・身長)

男子の身長は、5歳(111.1 cm)、7歳(122.8 cm)、10歳(138.7 cm)、12歳(152.5 cm)、15歳(168.5 cm)、16歳(169.7 cm)の各年齢で前年度より0.2~1.0 cm伸びており、8歳(128.1 cm)及び13歳(160.0 cm)は前年度と同じである。特に7歳では過去最高となっている。

(表1、参考資料1)

全国平均値と比べると、5歳で0.4 cm、7歳で0.3 cm、13歳で0.2 cm上回っている。12歳と15歳は、全国平均と同じである。その他の年齢では、0.2~0.6 cm下回っている。(表4)

女子の身長は、5歳(110.0 cm)、6歳(115.8 cm)、7歳(121.6 cm)、10歳(140.4 cm)、16歳(157.9 cm)の各年齢で、前年度より0.1~0.5 cm伸びており、13歳(155.2 cm)は前年度と同じである。(表1、参考資料2)

全国平均値と比べると、5歳、9歳及び17歳で0.2 cm、10歳、13歳及び16歳で0.1 cm上回っている。

6歳、7歳及び12歳は全国平均値と同じである。

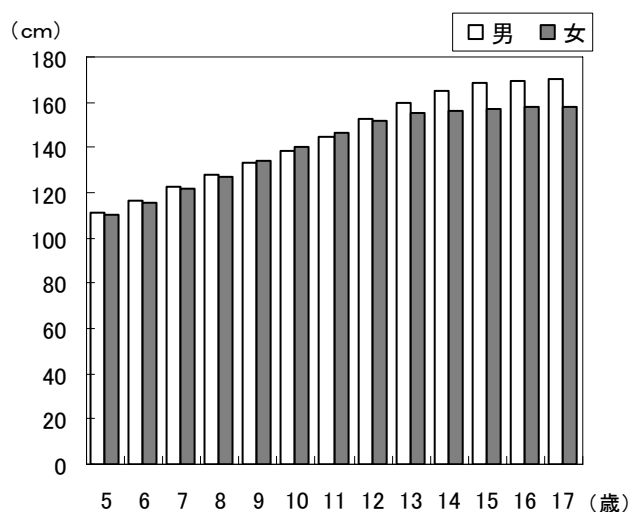
その他の年齢では、0.1~0.4 cm

下回っている。(表4)

また、9歳では0.4 cm、10歳では1.7 cm、11歳では1.8 cm女子の身長が男子の身長を上回っている。(表5)

図1 年齢別身長、体重及び座高

身長



(2) 体重

(図1・体重)

男子の体重は、5歳(19.3 kg)、7歳(24.6 kg)、13歳(49.9 kg)、15歳(58.9 kg)、17歳(62.3 kg)の各年齢で、前年度より0.2~0.8 kg増えている。(表2、参考資料3)

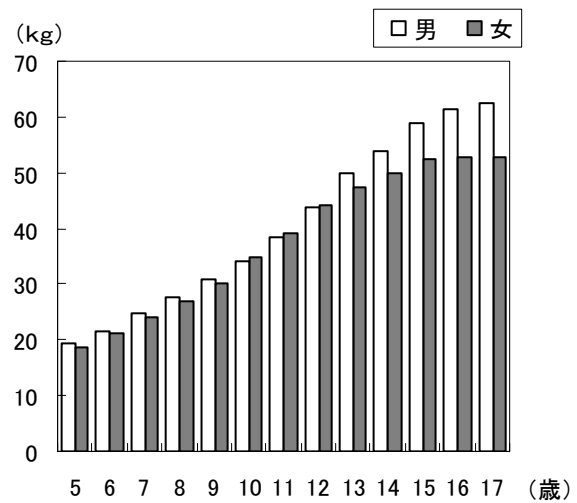
全国平均値と比べると、5歳、6歳、8歳及び9歳で0.2 kg、7歳で0.4 kg、13歳で0.3 kg上回っている。その他の年齢では、0.3~1.4 kg下回っている。(表4)

女子の体重は、5歳（18.7 kg）、7歳（23.9 kg）、10歳（34.9 kg）の各年齢で、前年度より0.2～0.7 kg増えており、6歳（21.3 kg）は前年度と同じである。（表2、参考資料4）

全国平均値と比べると、6歳で0.3 kg、7歳で0.4 kg、8歳及び15歳で0.2 kg、9歳及び12歳で0.1 kg、10歳で0.6 kg上回っており、5歳は全国平均値と同じである。

その他の年齢では、0.1～0.6 kg下回っている。（表4）

体 重



また、10歳では0.9 kg、11歳では0.6 kg、12歳では0.5 kg女子の体重が男子の体重を上回っている。（表5）

(3) 座高

(図1・座高)

男子の座高は、5歳（62.5 cm）、8歳（70.5 cm）、10歳（75.0 cm）、15歳（90.1 cm）で、前年度より0.1～0.9 cm伸びており、8歳、12歳、13歳及び16歳は前年度と同じである。

(表3、参考資料5)

全国平均値と比べると、5歳で0.5 cm、7歳及び9歳で0.2 cm、8歳、11歳及び13歳で0.1 cm上回っている。6歳及び12歳は、全国平均値と同じである。その他の年齢では、0.1～0.4 cm下回っている。（表4）

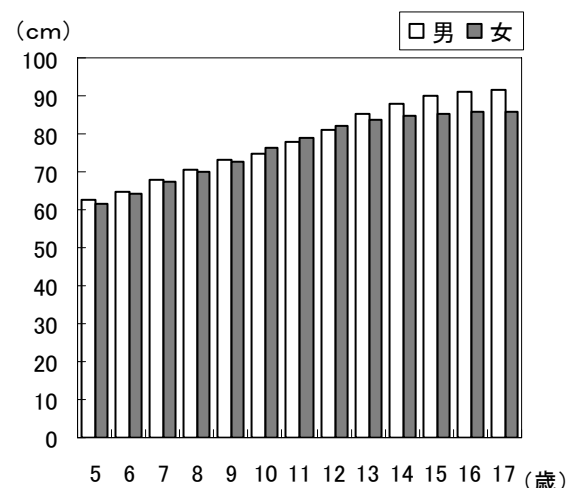
女子の座高は、5歳（61.8 cm）、10歳（76.1 cm）、16歳（85.7 cm）、の各年齢で、前年度より0.1～0.3 cm伸びており、特に16歳では過去最高となっている。（表3、参考資料6）

全国平均値と比べると、5歳で0.2 cm、10歳、16歳及び17歳で0.1 cm、上回っている。

9歳及び12歳は全国平均値と同じで、その他の年齢では0.1～0.3 cm下回っている。（表4）

また、10歳では1.1 cm、11歳では1.4 cm、12歳では0.9 cm女子の座高が男子の座高を上回っている。（表5）

座 高



2 県平均値における1年間の発育量

身長・体重・座高の県平均値について、各年齢時の1年間の発育量を見てみると、次のとおりである。(表6、図2)

(1) 身長

男子では、12歳時が最も大きく(7.7 cm)、16歳時が最も小さい(0.7 cm)。

女子では、10歳時が最も大きく(6.7 cm)、15歳時が最も小さい(0.1 cm)。

(2) 体重

男子では、12歳時が最も大きく(5.4 kg)、16歳時が最も小さい(0.5 kg)。

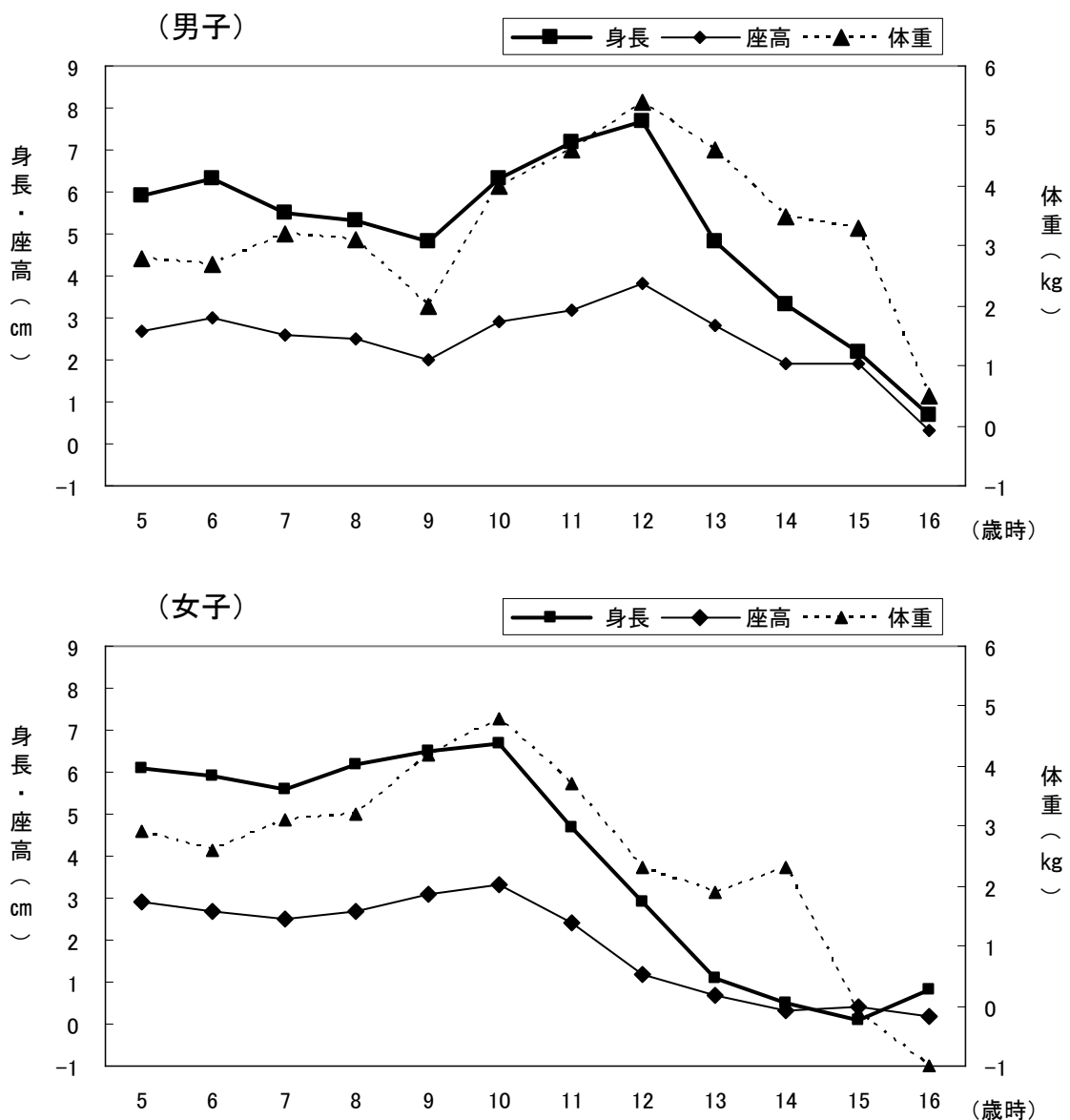
女子では、10歳時が最も大きく(4.8 kg)、16歳時が最も小さい(▲1.0 kg)。

(3) 座高

男子では、12歳時が最も大きく(3.8 cm)、16歳時が最も小さい(0.3 cm)。

女子では、10歳時が最も大きく(3.3 cm)、16歳時が最も小さい(0.2 cm)。

図2 県平均値における1年間の発育量



3 県平均値における親世代（昭和52年度）との比較

身長・体重・座高の県平均値について、その親の世代である30年前の昭和52年度と比較してみると、男女とも各年齢において上回っている。（表7、図3、4、5）

（1）身長

男子の身長を比べると、最も差がある年齢は12歳及び13歳で、親の世代より3.4cm高く、親の世代の13～14歳にほぼ相当する。

女子の身長を比べると、最も差がある年齢は10歳で、親の世代より2.7cm高く、親の世代の10～11歳にほぼ相当する。

（2）体重

男子の体重を比べると、最も差がある年齢は13歳で、親の世代より3.9kg重く、親の世代の12～14歳にほぼ相当する。

女子の体重を比べると、最も差がある年齢は10歳で、親の世代より2.9kg重く、親の世代の10～11歳にほぼ相当する。

（3）座高

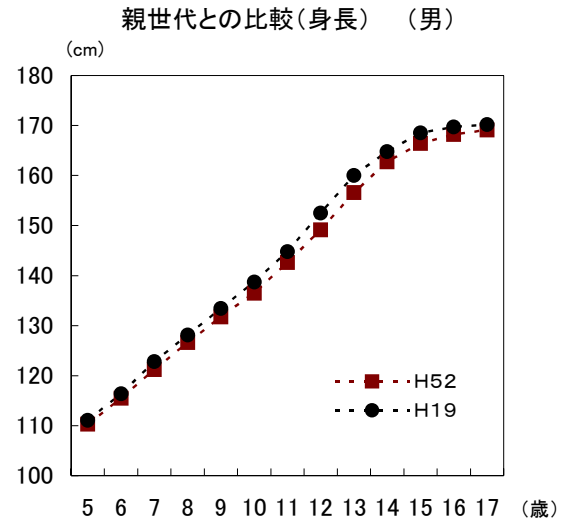
男子の座高を比べると、最も差がある年齢は13歳で、親の世代より1.9cm高く、親の世代の13～14歳にほぼ相当する。

女子の座高を比べると、最も差がある年齢は10歳で、親の世代より1.5cm高く、親の世代の10～11歳にほぼ相当する。

なお、身長から座高を引いた足の長さ（下肢長）について比べると、男子でもっとも差がある年齢は12歳で1.6cm、女子は9歳及び10歳で1.2cm親の世代より長い。

図3 県平均値における親世代との比較（身長）

身長 (cm) (男)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	110.3	111.1
6歳	115.5	116.4
7歳	121.2	122.8
8歳	126.6	128.1
9歳	131.7	133.4
10歳	136.5	138.7
11歳	142.6	144.8
12歳	149.1	152.5
13歳	156.6	160.0
14歳	162.7	164.8
15歳	166.4	168.5
16歳	168.2	169.7
17歳	169.1	170.2



身長 (cm) (女)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	109.3	110.0
6歳	114.6	115.8
7歳	120.3	121.6
8歳	125.9	127.1
9歳	131.5	133.7
10歳	137.7	140.4
11歳	144.9	146.6
12歳	150.1	152.1
13歳	153.5	155.2
14歳	155.3	156.3
15歳	156.1	156.9
16歳	156.4	157.9
17歳	156.6	158.2

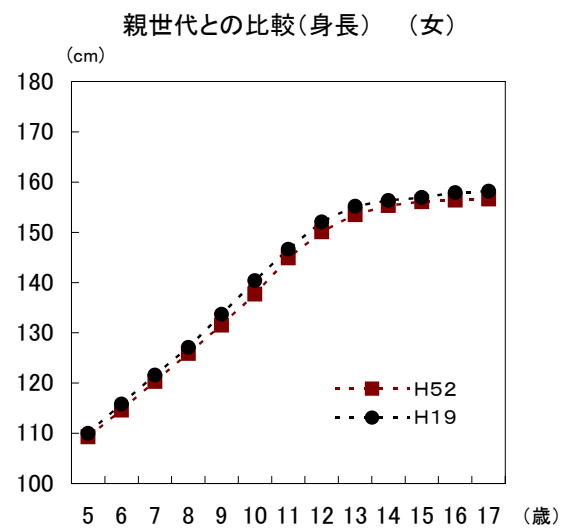
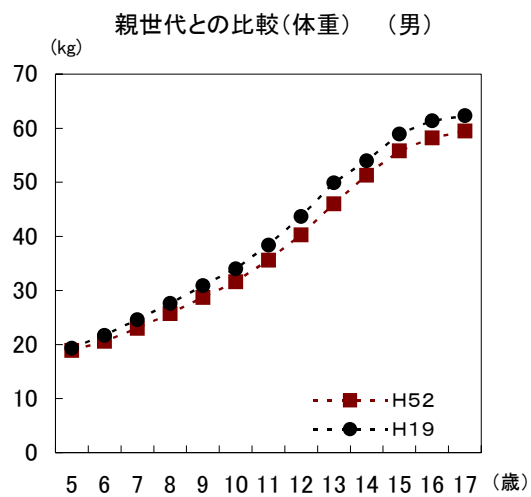


図4 県平均値における親世代との比較（体重）

体 重 (kg) (男)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	18.9	19.3
6歳	20.6	21.7
7歳	23.0	24.6
8歳	25.7	27.6
9歳	28.7	30.9
10歳	31.6	34.0
11歳	35.6	38.4
12歳	40.3	43.7
13歳	46.0	49.9
14歳	51.3	54.0
15歳	55.8	58.9
16歳	58.2	61.4
17歳	59.5	62.3



体 重 (kg) (女)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	18.4	18.7
6歳	20.1	21.3
7歳	22.4	23.9
8歳	25.3	26.8
9歳	28.4	30.1
10歳	32.0	34.9
11歳	37.2	39.0
12歳	42.0	44.2
13歳	46.0	47.4
14歳	48.9	49.8
15歳	51.0	52.3
16歳	51.7	52.9
17歳	52.2	52.9

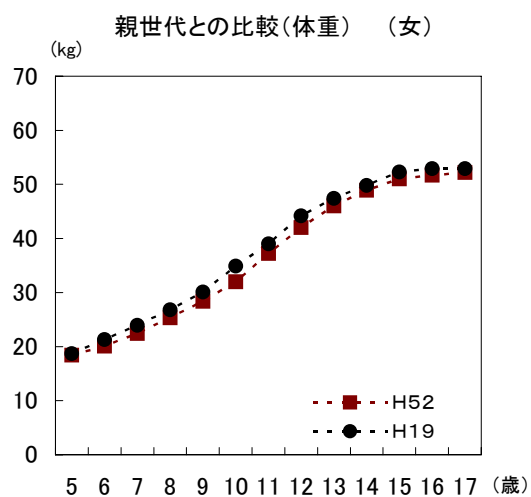
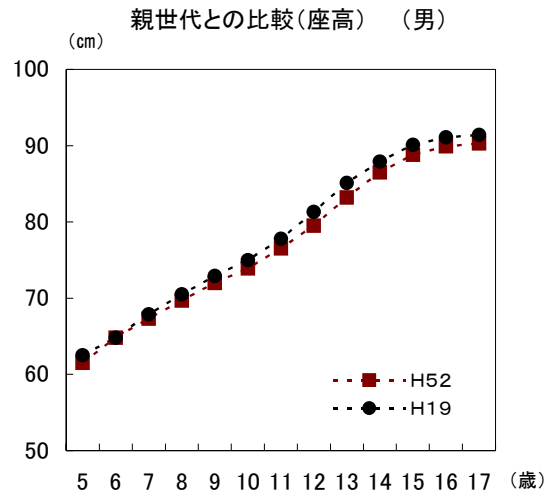
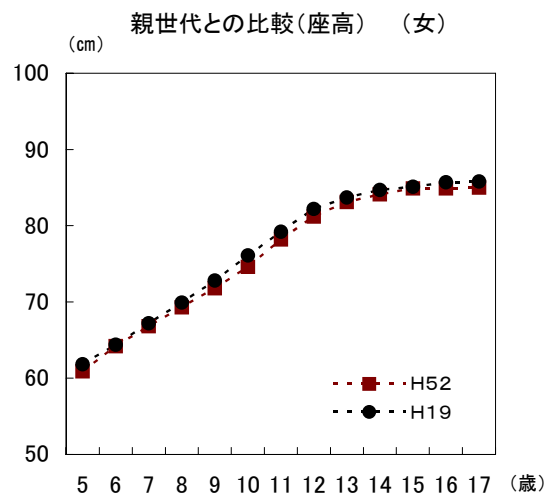


図5 県平均値における親世代との比較（座高）

座 高 (cm) (男)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	61.5	62.5
6歳	64.8	64.8
7歳	67.3	67.9
8歳	69.7	70.5
9歳	72.0	72.9
10歳	73.9	75.0
11歳	76.5	77.8
12歳	79.5	81.3
13歳	83.2	85.1
14歳	86.5	87.9
15歳	88.8	90.1
16歳	89.9	91.1
17歳	90.3	91.4



座 高 (cm) (女)		
	昭和52年度	平成19年度
5歳	60.9	61.8
6歳	64.2	64.4
7歳	66.8	67.2
8歳	69.3	69.9
9歳	71.8	72.8
10歳	74.6	76.1
11歳	78.2	79.2
12歳	81.2	82.2
13歳	83.1	83.7
14歳	84.1	84.7
15歳	84.9	85.1
16歳	84.9	85.7
17歳	85.0	85.8



4 肥満傾向児の出現率

肥満傾向児

標準体重を上回った子どもの割合を示す「肥満傾向児出現率」の全国平均値との比較を見てみると次の通りである。

男子は、5歳～9歳、11歳及び16歳において0.2～1.3%全国平均値の出現率を上回っており、その他の年齢では0.2～2.3%下回っている。

女子は、5歳～10歳、15歳及び16歳において0.7～2.0%全国平均値の出現率を上回っており、その他の年齢では全国平均値を0.1～2.4%下回っている。

県内において、肥満傾向児の出現率が10%を超えているのは、10歳、11歳、15歳及び16歳で、男子では、16歳の13.1%が最も高く、女子では15歳の11.8%が最も高くなっている。

(表8、図6)

図6 全国平均値との比較による肥満傾向児出現率

